

## 小澤洋介、三戸素子、P. ヤング友の会ニュース No.22



## サント・フローリアン三重奏団、4月の公演迫る！

7日(金)イギリス館、8日(土)骨髓バンクチャリティー鎌倉円覚寺、11日(火)新宿オペラシティ

ファン待望のサント・フローリアンのコンサートが4月はいっきょに3回あります。7日は横浜イギリス館の《モーツァルト》で、昨年のピアノ三重奏曲集第1夜は息がつけられないほど濃密な演奏だったので、今年もとても期待されます。

また8日と11日は同じプログラムで、モーツァルト・スメタナ・ベートーヴェン「大公」が聴けるのですが、一方は鎌倉の円覚寺、もう一方はトレンドスポットである新宿オペラシティと両極端の雰囲気のある会場です。全く違った環境の中での演奏は、いったいどんなふうになるのでしょうか。それもまた面白そうです。どのコンサートに行こうか迷ってしまいます。そういえば、昨年11月の骨髓バンクチャリティーの時、会員の村上順子さんは関東の三会場をすべて制覇し、とても多重に楽しめたと言っておられたそうです。この際、我々も三ヶ所全部行っては……？

アルコリス基金が協賛する11日の新宿オペラシティ公演は特によろしく！！

## クライネス・コンツェルトハウス Vol.8 20世紀の音楽を聴いて

いつものモーツァルトやベートーヴェンとまた違った、20世紀の音の世界が  
くりひろげられた2月27日の東京文化会館。会員の方のお便りからご紹介します。

### 友の会会員 津曲奈穂子

これまで現代音楽というと難解だと思っていましたが、今回のヤナーチェクは同じ20世紀に生きる者の思いのたけが、せつせつと語られているような気がして、ヤナーチェクが、こういう曲を書かずにいらなかった気持ちがよく理解できます。20世紀最後の年にこの曲に出会えて嬉しのです。

現代音楽が難しいと思っていたけれど、音楽が難しいのではなくて、現代が複雑で難しいのだと気づきました。

素子さんの演奏は、その複雑な生き難さの中にいる我々を前へ前へと引っばっていく力強さがあって、いつも勇気づけられます。

### 友の会会員 志賀紳のコンサート日記

これまで現代音楽というと難解だと思っていましたが、今回のヤナーチェクは同じ20世紀に生きる者の思いのたけが、せつせつと語られているような気がして、ヤナーチェクが、こういう曲を書かずにいらなかった気持ちがよく理解できます。20世紀最後の年にこの曲に出会えて嬉しのです。

無責任に面白がって聞きました。途中でヴィオラがいい音をしているのに気づきました。一、三楽章の終り方がしやれて

2、バークレー

ヴァイオリンとチェロの組合せが例外的なものもわかる気がしました。

3、バークレー

いつもそうですが、今度も「来てよかった」と心から思いました。

こういう選曲を聴かせてくれた小澤さん、三戸さんにほんとうに感謝します。(バークレーをまん中においた配曲も絶妙でした！)

おそらく、これは私が事前にプログラムを読んだはじめての演奏会でしたが、三戸さんの解説はとても的確なものだったと思います。

以下、こういう聴衆もいると思ってもらえばいいのです。

\*  
1、ラヴェル  
ほんとうに堪能しました。  
私はドビュッシーが好きなだけに、こういう曲には抵抗できません。  
この洗練の極致のような音楽に、ヴァイオリンとチェロだけの組合せは素晴らしいものでした。

ラヴェルは偉大な芸術家だったのだと思います。第一楽章冒頭の、強い音や意外なピチカート、最終楽章のスペイン風の音など、厳しい、やや異質なものの持ち込みを恐れず、曲自体が垂流の出現を拒否しているようです。

ヴァイオリンとチェロの組合せが例外的なものもわかる気がしました。

2、バークレー

無責任に面白がって聞きました。途中でヴィオラがいい音をしているのに気づきました。一、三楽章の終り方がしやれて

2、バークレー

3、ヤナーチェク

しかし、何といたっても、いちばんよかったのはヤナーチェクです。

はじめから、私は「三戸さんの解説のとおりだな」と思い、心が静められるように聴いていました。

だんだん私は、ヴィオラの音を中心に聴くようになっていました。

モラヴィアの森の風の中。ヴァイオリンなどが明朗な音を響かせている中で、ヴィオラがいつのまにか曲の内的な主役となり、「ん、それでいいんだ」とか、「そうかな、もう少し考えよう」とか作曲家の内面の声をつぶやき、ときには放心したり、別のことを考えていたりするのです。

そして、チェロが、他の楽器との音楽に加わりながら、時々信頼できる友だちのように、「うん、それでいいんだよ」とヴィオラを上げます。陪音をひびかせたり、黙ってあなたかく見ていたりしています。

作家の創作過程が見えてくるような、こんな知的な重層的な音楽はおそらくはじめてです。

第三楽章に入って、私は感動していました。作者の内的な声とヴァイオリンなどがつくってきた音楽は気持ちよく一致し、見事な、冴えた、しかしあたたかい音楽になっていたのでした。日々の、くらしの、心の、言葉や、自然の中の小さな、しかし確かな真実というようなものを、私はこの音楽の中に聞き、同感しつづけて

こういう曲を選んでくれたクライネス・コンツェルトハウス、そしてあのヴィオラの音を、しずかに、説得的に聞かせてくれた二宮さんに心から感謝します。

## 友の会 八ヶ岳支部だより

友の会会員 三井千恵子

永い冬眠から覚めようか・・・と二月二十七日の上野文化会館小ホールのクラインネス・コンツェルトハウスのコンサートの出掛けました。蔵元の蔵開きの、まるで純米大吟醸のお酒を飲ませて戴いたようなコンサートの内容に、心地よい酩酊の気分です山に帰り着きました。

八ヶ岳大泉村は、主峰赤岳(2899米)の頂上まで大泉村なのです。(皆さんの好きな清泉寮もあります・・・)昨年の春頃、小澤洋介氏のチェロ無伴奏曲を又ぜひ聴く会を八ヶ岳で開催したいと、友の会S夫人と語り合っていたのですが、彼女は夏の突然大手術を受けることになり、然しその後順調に回復して、日常生活をとり戻す日々となりました。八ヶ岳パイ工房森の小さな店に時折訪れる友の会のメンバーとの会話の中でも、チェロ独奏演奏会の夢が、実現に熟成されて来ています。それで、純米吟醸酒造りにこだわり続ける大泉村・谷桜酒造の酒蔵をお借りして、この十月二十一日(土)の開催に向けて小澤洋介氏に快諾を頂きました。酒蔵の二階の空間はすべて天然の木。ホールごとのチェロの美しい響きを今から予想しています。

参加人数に制限がありますので、お聴きになりたい方はFAXまたはお手紙を下さい。詳細は各々直接お知らせします。宿泊については、希望の方はご紹介しません。

連絡先 〒491-1522  
山梨県北巨摩郡大泉村谷戸五七七-一  
八ヶ岳パイ工房  
森の店番人 三井千恵子  
FAX 五五一-三八〇-一七

## 友の会会員ってどんな人? 新企画! 会員のご紹介

今回原稿をお寄せくださった会員のうちお二人をご紹介します。

## 津曲奈穂子さん

東京・神楽坂にある鍼灸院の先生で、その繊細で的確な治療に、来日する海外有名演奏家も通っているほど。洋介さん、素子さんもずっとお世話になっていて、フィリップさん、ティムさんも先生の所で体調を整えていただいています。

お母様が設立した出版社・彌生書房(吉野せい著「涙をたらした神」、「八木重吉詩集」他)の役員でもいらっしゃいます。

## 三井千恵子さん

約30年にわたる東京住まいから、郷里の諏訪に近い山梨県大泉村にリターン。現在、やはり友の会会員のご長男、三井龍史氏が製造・経営する「八ヶ岳パイ工房」のショップを手伝っておられます。本物のバターと上等な粉を、八ヶ岳の美味しい水で練って焼いたアップルパイは本当にあたたかい手作りの味です。サンクト・フローリアンの1993年からのファンで、パイ工房のお店のシールは、龍史氏自ら三重奏団をモデルにデザイン。

## コンサートのご案内とお知らせ

## 4月7日(金)《モーツァルト》シリーズ第8弾

クライネス・コンツェルトハウス《モーツァルト》Vol.8

## サンクト・フローリアン三重奏団

「モーツァルトピアノ三重奏曲集」第2弾!

- ・ピアノ三重奏曲：八長調 KV548
- ・ピアノ三重奏曲：ト長調 KV496
- ・ピアノ三重奏曲：変口長調 KV502

横浜イギリス館 19pm 開演 ¥3,500

問：ハラヤミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218

## 4月8日(土) 第9回 円覚寺ピアノ三重奏の夕べ

~サンクト・フローリアン三重奏団 骨髄バンクキャンペーンコンサート~

演目、出演者は以下の東京オペラシティと同じです。

鎌倉 円覚寺 方丈 17:30pm 開演 前売券 ¥3,000

問：神奈川骨髄バンクを考える会 TEL.0463-21-0010

## 4月11日(火) 東京オペラシティ演奏会

## サンクト・フローリアン三重奏団

- ・モーツァルト：ピアノ三重奏曲 変口長調
- ・スメタナ：ピアノ三重奏曲
- ・ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲「大公」

東京オペラシティ 19pm 開演

友の会会員割引 ¥4,000

問：ハラヤミュージックエンタープライズ 03-3587-0218

## 4月14日(金) 小澤洋介が賛助出演

チェロ：小澤洋介 ピアノ：大平由美子

- ・ベートーヴェン：チェロソナタ第3番

ベルリン音大のピアノのアンドレアス教授のコンサートの前半に、小澤洋介がベートーヴェンのソナタを演奏します。

いちょうホール(東京・八王子) 18:30 開演 ¥3,000

問：小澤洋介 042-945-6326

## 6月30日(金)《モーツァルト》シリーズ第9弾

クライネス・コンツェルトハウス《モーツァルト》Vol.9

「モーツァルト弦楽四重奏曲集」

- ・弦楽四重奏曲：変口長調K458「狩」
- ・弦楽四重奏曲：二長調K575「プロイセン王 第1番」
- ・弦楽四重奏曲：二短調K421

出演：三戸素子 山田耕司 二宮隆行 小澤洋介

横浜イギリス館 19pm 開演 ¥3,500

問：ハラヤミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218

## 8月26日(土) 東京文化会館室内楽シリーズ

クライネス・コンツェルトハウスVol.9

弦楽四重奏曲 &amp; ピアノ五重奏曲

出演：ピアノ：ラファエル・ゲラ ヴァイオリン：三戸素子、山田耕司

ヴィオラ：二宮隆行 チェロ：小澤洋介

封筒の宛先の下に数字は会員有効期限年月です。切れている方は同封の振込用紙で、ご継続の手続きをぜひお願い致します。

新規会員を随時募集しております。知人、ご友人の方々に友の会をぜひご紹介下さい。

年会費 一口 1,000円

郵便振替口座 00260-1-13926

加入者名：「友の会 小澤洋介・三戸素子・フィリップ・ヤング」